

目標設定シート

(2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	司法研究科
大項目	2 入学者選抜
小項目	2.0.1 入学者選抜基準等の規定・公開
要素	適切な学生受入方針、選抜基準及び選抜手続が明確に規定され、適切に公開されていること。
小項目	2.0.2 入学者選抜の実施
要素	入学者選抜が、入学者選抜の基準及び手続に従って適切に実施されていること。
小項目	2.0.3 既修者選抜基準等の規定・公開
要素	適切な法学既修者の選抜基準・選抜手続及び既修単位の認定基準・認定手続が明確に規定され、適切に公開されていること。
小項目	2.0.4 既修者選抜の実施
要素	法学既修者の選抜及び既修単位の認定が、所定の選抜・認定の基準及び手続に従って適切に実施されていること。
小項目	2.0.5 入学者の多様性の確保
要素	入学者全体に対する「法学部以外の学部出身者」又は「実務等の経験のある者」の割合が3割以上であること、これに至らない場合は3割以上となることを目標として適切な努力をしていること。

○2009年度からの目標

1. 面接試験の結果を重視するため、特別入試で総合点が優れていても不合格とする制度に改める。
2. 既修者試験について、専門の各科目の合格最低点を決定する。

○指標

1. 特別入試における面接点の最低基準の決定
2. 科目別の合格最低点の決定。